

2018年度収蔵
新収蔵品展

Part 2.

楊洲周延

時代かみ

じだいかがみ

全点展示



2019

前期

6.11火 ▶ 7.6土

後期

7.10水 ▶ 8.3土

楊洲周延《時代かみ》大判錦絵 53枚揃より 右下=「文安之頃 見世物之古図」部分 *前期展示
左上、左下=「目録」部分 *前後期展示 右上=「附録」部分 *前後期展示 *いずれも明治29年(1896)



城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY

開館時間=午前10時~午後4時
休館日=日曜日・月曜日・7月16日(火)
※ただし、7月15日(祝・月)は開館
観覧料=無料
会場=ギャラリー1

Open:10:00~16:00
Closed: Sundays, Mondays, July 16th
※July 15th Open
Admission fee:free
Place: Gallery 1

楊洲周延

時代かゞみ

全点展示

じたいかがみ



昨年当館所蔵となった収蔵品を2回かけてご紹介する「2018年度収蔵新収蔵品展」の第二弾を開催します。

「楊洲周延《時代かゞみ》全点展示」と題し、明治29年(1896)から翌30年にかけて制作された明治の浮世絵師、楊洲周延による美人画の代表作《時代かゞみ》大判錦絵53枚揃い全点を前期後期に分けてご紹介します。

本作は、建武時代から明治半ばまでのおよそ500年間の長きに渡る、各時代の美人の姿が当時の髪型と装いで描かれていて、美人の変遷を辿ることができます。画面下段に美人図を配し、上段には該当する時代に流行していた芸能、文化、職業、行事等が描かれており、美人像の変遷を見つ、歴史の移り変わりも同時に確認することが可能です。墨を主色に、控え目に描かれた上段とは異なり、下段の美人図は鮮やかな色彩が用いられ、華やかに表現されています。

本展では、目録1枚、附録2枚を前後期通して展示し、前期では建武から安永までの25枚、後期では安永から明治半ばまでの25枚をご紹介します。中世から近代までの歴史を振り返りながら、美人画の流れもお楽しみください。

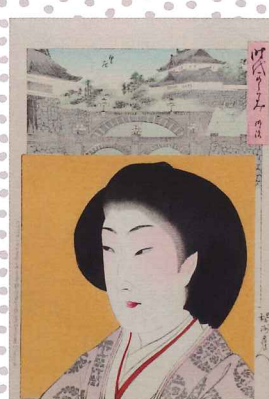
スライドトーク

(主な出品作品について学芸員がスライドで解説します)

6月22日(土)、7月20日(土)
各回 午後2時~(約30分)

会場：城西大学水田記念図書館
2階視聴覚室

※申込不要
※入室は午後1時30分から



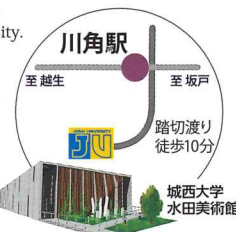
楊洲周延《時代かゞみ》大判錦絵53枚揃より
1、「建武之頃 竹馬の古図」明治29年(1896) 2、「元和之頃 左甚五郎」明治29年(1896) 3、「明暦之頃 手鞠の古図」明治30年(1897) 4、「天和之頃 塗笠あみ笠」明治29年(1896)
5、「天明之頃 雑司ヶ谷会式」明治29年(1896) 6、「文政之頃 鶴御成」明治29年(1896) 7、「安政之頃 飛鳥山かわらけなげ」明治29年(1896) 8、「明治 皇居」明治30年(1897) *1~4=前期展示、5~8=後期展示

交通のご案内/Access



【電車の場合】
東武東上線坂戸駅乗り換えで東武越生線川角駅下車、踏切を渡り徒歩10分
By train: From Sakado station of the Tōbu-Tōjō Line, take the Tōbu-Ogose Line and get off at Kawakado station. It is a ten minute walk to the university.

【お車の場合】
1. 関越自動車道「鶴ヶ島I.C.」を出て、鶴ヶ島方面に進み国道407号線を直進
2. 「脚折町四丁目」交差点で右折し、右に「狩野動物病院」の看板がある交差点で右折
3. 「一本松」交差点を毛呂山方面に直進
4. 「万年橋」を渡り、「明海大学病院」の看板がある交差点を左折し直進、踏切を渡り登り坂を進むと突き当りに城西大学正門入口
※鶴ヶ島I.C.より約20分



数字は川角駅までの最短所要時間です。
The number indicates the shortest time required to reach Kawakado station.